

第7回関東甲信越
青年経営者フォーラム

開催延期のお知らせ

2020年6月6日(土)の開催を延期いたします。

事由
現在、国内外に新型コロナウイルス感染症が拡大しており、感染のリスクが排除できない状況であること、万が一感染者が出た場合、ウイルスを各地域、会社に持ち帰り、拡散することになり、そうなった場合、会員個人だけでなく、会社、同友会にも大きな影響が出ることを鑑みて、また、関東甲信越青年経営者フォーラムの運営を担う中で、同友会運動を実践している関東甲信越の青年経営者と交流し、共に学び合い、同友会運動と社業を共に発展させていく、また本来あるべき経営者としての姿勢を体感し、青年部活動の質を高めるといった開催目的が、県内外での交流が難しい現状では達成できないこと。

開催日程等は決まり次第お知らせいたします。

第7回関東甲信越青年経営者フォーラム
実行委員長 筑波洋海

新型コロナウイルス感染症対策について

会員の皆さまへ
全世界で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症について、茨城同友会では、国の方針を踏まえた上で、感染拡大を防ぐため、4月2日(木)までの行事・会合(例会・発表会等)の原則延期という措置を講じ、会員の皆さまに通知させていただきました。
政府の専門家会議や安倍首相の記者会見、また東京都を中心とした各県での週末の不要不急の外出自粛要請など、現在は爆発的な感染拡大の重大局面として水際の対策が取られている状況です。茨城県内でも3月17日に1例目の感染者が発表され、4/6時点71名の感染が確認されています。
こうした流行段階の判断から、昨日の臨時執行部会議において、4/3~5月中の期間、多くの人が集まる例会や発表会などの公式行事は、引き続き原則延期となる旨が決定いたしました。
「茨城県中小企業家同友会の新型コロナウイルス感染症対策について【第3報】」として、現在FAX・e.doyuを通じて、会員の皆さまにご案内をさせていただいておりますので、ご確認くださいませ。

No.285号 2020年4月8日

DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階
Tel:029-243-8230
Fax:029-243-7225
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

第20期経営指針を創る会
第9講・10講合宿

第20期経営指針を創る会の第9講、10講の最終合宿が、いこいの村廻沼を会場に開催されました。指針書の完成を目標に、受講生それぞれが、これまで取り組んで来た経営指針成文化について、グループごとに意見交換しました、経営理念の明文化が出来ているか、経営者としての想いや哲学が反映されているか、経営ビジョンには、10年後のありたい姿や物語、目標とする経営指標などが含まれているのか、更に中期経営計画は理念に基づいて、ビジョンを実現するために自社の状況や外部環境の変化を踏まえて、どのように事業を展開していくのか、単年度経営計画や具体的なアクションプランを立てられているかを共有し、また講師の伊藤先生との面談を通して、これまでの振り返りや自分の想い、悩みを言葉にすることで更に指針を深掘していく作業を行いました。
2日目の午後からは、発表会をイメージしたプレ報告を行い、委員・OB、同期からのアドバイスや激励があり、2日間の熱い合宿は幕を閉じました。
本来であれば、3月14日(土)に発表会を迎える予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、発表会は延期となりました。このような外部環境の変化にも打ち勝てる強い会社を目指して、受講生の指針創りと経営実践は続いていきます。
第20期経営指針を創る会発表会の日程については、決まり次第ご案内いたします。

2月度 新入会員のご紹介
会員は辞書の
1ページ!

水戸支部

伊藤 拓也さん
伊藤司法書士事務所
司法書士



県央海浜支部

大和田 和男さん
特定非営利活動法人
地域教育支援いばらき
理事



南西支部

小田 佳史さん
(株)コミュニティライフ
プロモーションズ
代表取締役



2月の例会報告

日立支部

2月5日(水) 日立シビックセンターにて
『大島流教えない社員教育
～大切なのは教わる事ではなく、自らが気が付けるように助けること～』
報告者:大島 邦博さん フレンドアニマルメディカルセンター 院長



日立支部2月例会はフレンドアニマルメディカルセンターの大島さんをお呼びしました。教えない社員教育ということで、社員に自身で感じ自身で考える能力をつけさせるという社員教育の考え方にはとても感心させられました。大島さんの信仰するキリスト教の教えになぞらえながらの社員教育の考え方は随所に愛が数き詰められており「社員に仕える」という考え方は全ての経営者がもう一度社員との向き合い方を考え直すとても良い機会になったのではないのでしょうか・・・ 愛の詰まった素晴らしい例会・グループ討論が出来た例会でした♡

(レポート:金井 雅明さん)

県央海浜支部

2月18日(火) ワークプラザ勝田にて
『理想の教育、ないからつくる！
～レジリエンスを育む教育と組織づくり～』
報告者:宮嶋 さやかさん (株)Kids Creation 代表取締役



県央海浜支部2月例会は、南西支部係Kids Creation代表の宮嶋さやかさんにご報告いただきました。ご自身の子育ての経験や後輩の育成をする中で、現代の教育に危機感を持ち、自らスクールの経営を始められました。開業当初は資金面等限られたリソースの中で様々な工夫を凝らし、また行政や金融機関との折衝を重ねて、ご自身が理想とする教育環境を実現されました。社会的な問題をご自身の使命と捉え、自分にしかできないことは何か、ターゲットはどこかを徹底的に考え戦略を立てる経営は、まさに我々経営者が見習うべき姿勢だと痛感しました。

(レポート:阿久津 隆男さん)

ドラゴン支部

2月13日(木) 牛久エスカード生涯学習センターにて
『Stairway To TOKYO COLLECTION』
報告者:墳崎 嵩史さん Design lab "Lights" 代表



夢と現実の狭間で苦悩した学生時代に「ファッションの力に救われた」と語った墳崎さんは下積みを経験後、「自分も誰かの力になりたい、感動を与えたい」という想いで独立。しかし、ブランドとしての結果が出ない6年間を経て、今一度自分を見つめ直そうと思っていた時に同友会を知り入会しました。そして今もう一度原点に戻り、ファッションブランドとして東京コレクション出場を1つの目標に掲げました。伝えたい想いを本気で表現するからこそ、そこに共感が生まれる。ブランドとしての存在意義とブレない軸を固めながら、同時に経営者としてのマネジメントも貪欲に学ぶ墳崎さん。自分をさらけ出した素直な報告は、参加した会員の心に強烈な印象と共感を残しました。ファッションとは「個人メディア」だと私は感じます。服は機能以上に想いを搭載するフィジカルメディアとなり、心が繋がりが合う正の連鎖を作ることこそが彼の仕事なのです。

(レポート:青木 恵之さん)

南西支部

2月25日(火) つくば市役所コミュニティ棟にて
『経営指針セミナービフォーアフター
～経営指針を創れば会社は善くなる?～』
報告者:稲葉 佳正さん 稲葉運送(株) 代表取締役



2月例会は南西支部の経営指針委員が担当し、経営指針を作られた稲葉さんをお願い致しました。社員40人以上の運送会社を経営していても、自分は運送業の社長には向いていないと自分をさらけ出し、等身大の悩める経営者として、多くの学びを与えて頂いた例会発表でした。それらは、水海道の水害で大きな被害を受け、ドン底から立ち上がった経験があるからこそ話せる事だと思いました。グループ討論のお題が「いい会社とは？」と難しい題目でしたが、参加者から「いい会社」への熱い思いが語られ、各自がプチ例会発表のようなグループ討論となりました。余談ですが、リハーサルを稲葉さんの会社で行っていた時に、夜遅くにトラックを出す社員さんに稲葉さんがかけた言葉と社員さんから帰ってきた言葉に経営理念の「おかげさま、ありがとう」の精神が息づいていて、「稲葉運送」っていい会社だなあと感じました(^_^) 新型コロナウイルスが経済に暗い影を落とし始めていますが、同友会のつながりと学びの実践でこの難局を乗り越えて行きましょう。

(レポート:須藤 利明さん)

県西支部

2月19日(水) 坂東市商工会館にて
『また新たなきっかけとなった経営指針
～強い会社であり続けるために～』
報告者:鯨岡 則雄さん
(株)大宮自動車教習所 代表取締役



昨年の10月16日に報告頂くことになっておりましたが、台風15号、19号の被害の大きさに例会をやむなく延期することになりました。県西支部の例会は通常、10名程度の参加でグループも2班つくるのが精一杯という感じです。しかし今回は他支部の方々やゲストの方に多く参加して頂き、盛大に開催することが出来ました。そして念願の(株)大宮自動車教習所の鯨岡社長の報告を聞くことが出来るという喜びと私自身が今回初めての座長という事もあり、喜びと緊張で報告を聞かせて頂きました。鯨岡さんはお父様の会社に入社。平成11年に代表取締役に就任されました。順風満帆に思えていましたが、新しいプロジェクトを特定の社員とだけ進めておりました。そのため他の社員は『社長が何か始めたいけど、彼奴とだけ進めているのだから俺達には関係ないよな』と社員の嫉妬が始まりました。そして社長と社員の間に少しずつ溝が生まれ

始まりました。これを危機と感じた鯨岡さんは『これではいけない、何とかしなくては』と経営指針成文化セミナーを受講されました。そして社内に風通しの良い環境をつくるため、朝礼時に社員同士が向き合って30秒間褒め合う『褒め達』を実践しているそうです。実際に例会中に各グループで30秒間、褒め合いました。褒められることで『相手は自分をこのように見ている』と改めて嬉しくなりました。この様に実践を交えての例会で部下の良い所を見つけ、褒めてあげなければいけないなど実感しました。そして信頼関係が生まれ、社内のコミュニケーションが良くなることで風通しの良い社内、社風をつくっていくのだと改めて思いました

(レポート:稲毛田 英樹さん)

【編集後記】いつも会員の皆さまには会報誌作成にご協力いただきありがとうございます。暗いニュースが続く、家で過ごす時間が増え、何か没頭できるものは…とパズルを購入。コレどうせやるなら3000ピース！ドーンとぶちまけいざトライ！そのうち娘たちも手出しするようになり、現在半分ほど出来上がってきました。みんなでパズルをただひたすらに眺める時間。慌ただしかった毎日が遠い昔の事のように見え、元の生活に戻るか不安でもありますが…。このパズルが完成する頃にはまた忙しい日常が戻り、きっと完成品は忘れ去られ飾られることなく放置される。そう願いながら、残りの海と空のパーツを探します。(shimo)

